



富士ワイズメンズクラブは社会を明るくする運動富士市推進委員会の加盟団体です

富士ワイズメンズクラブは静岡県海岸プラスチックごみ防止6R 県民運動に賛同します

国際会長主題 ヨハン・ヴィルヘルム・エルトヴィク ブルーミュージックで眠れる巨人を目覚めさせる
アジア太平洋地域会長主題 ラチャン・マニカーン アジア太平洋地域をブルーミュージックで
目覚めさせる

東日本区理事主題 山下 真
富士山部部長主題 増田 隆
富士クラブ会長主題 仲澤昭夫

挑戦なくして進化なし
見せましょう ワイズの底力を スクラム組んで
次世代を担う若者たちのために我々は汗をかこう！

会 長 仲澤昭夫
副会長 岩辺富雄
書 記 高野 亨
会 計 吉澤廣美
担当主事 金井 淳

2026 年
10 月
会 報

強調月間
ASF

★2026 年 10 月例会★

と き 2026 年 10 月 14 日 (水) 18:30～
と ころ ホテルグランド富士 61-0360

受付 吉澤廣美君 司会 岩辺富雄君

1. 開会点鐘 仲澤昭夫会長
1. 開会の挨拶 金井 淳君
1. ワイズソング・ワイズの信条
1. 東日本区理事、富士山部長、会長主題の唱和
1. 会長挨拶 仲澤昭夫会長
1. ゲスト・ビジター紹介 仲澤昭夫会長
1. 食前の感謝 小澤嘉道君
1. マイタイム
1. 誕生日
1. 各委員会・書記・会計・事務局報告
1. 出席率スマイル報告
1. 閉会の挨拶 増田 隆君
1. 閉会点鐘 仲澤昭夫会長

例会終了後役員会を開催します

10月 Happy Birthday

10 月 15 日 岩辺富雄君

9 月例会報告

在籍会員	8 名	例会出席者	7 名	スマイル基金	7,000 円	CS 基金	円
休会会員	名	出席率	88%	スマイル累計	39,000 円	CS 累計	円
担当主事	1 名	ゲスト	名	ビジター	名	総出席者	7 名

巻頭言

水害に思う

吉澤廣美

全国各地に水害被害が起きています。想定外の雨量が原因ですが、これからは常に起こると思っていたほうがよいでしょう。富士市には日本三大急流のひとつ、富士川があります。約 400 年前に先人達がいくつかの荒れ狂う支流をひとつにし、最短で海に向かうようにしてくれました。そして川幅では耐えきれない水量を溜めることのできる V 字型の堤防（雁が群れで V 字に飛んでいる形状から“かりがね堤”と呼ばれている）を 3 km に渡り完成させました。そのおかげで田畑、住居が増えて富士市ができました。その後 400 数年にわたり富士川の大きな氾濫は起きていませんが、昨今の線状降水帯なるものが上流にかかり、500 年に一度の大雨ともなると安心はできません。ハザードマップでは富士川が氾濫すると身延線の高架土手があるために水のはけ口がなく数メートルの水かさになるそうです。私の家はその内側です。ので恐ろしいです。また富士市は海岸に台風や津波よけの 18m 防波堤があり、田子の浦港の所だけが海と接しており、他にははけ口がなく大水害の時にはほとんどが水面下に沈むようです。かたや大波から守る堤防が、見方を変えると内側に大量の水が溜まる凶器になる。功と罪です。数年前に富士市の講座でこんな話を聞きました。

9 月例会報告

定刻より少し早く 9 月例会は開催されました。今月のマイタイムは「夏の思い出・・・」をお願いしました。金井君は、8 月に東京ドームで開催された都市対抗野球を応援に行き、白熱した試合や、応援合戦に久しぶりに興奮したそうです。小澤君は最近の熊本



会員増強等について話し合うメンバー

地震や千葉県の豪雨など災害を目の当たりにして、家庭の備蓄を見直し、簡易トイレやガスボンベ使用の発電機などを揃えたそうです。吉澤君はお盆の迎え火、送り火のお話をしてくれました。岩辺君はお孫さんのサッカー応援に山梨県に行き、雷で試合が途中で打ち切りとなり敗戦し、悔し涙を流したとのこと。馬刺しが食べたくて山梨県内の肉屋を回ったが、気に入った馬刺しが見つかったそうです。鈴木君はお孫さんたちと中伊豆に行ったそうです。そして、ついに運転免許証を返納したが、不便を感じているそうです。増田君は1時間もかけて有名ブランド「富士三水園」の梨を手に入れた話。仲澤会長は散歩時間を変更し朝5時に出発、J R 富士駅南口のベンチで一服していると外国人たちが大きな声で話しているそうです。

そうすると市内の工場のマイクロバスが彼らを乗せていくそうです。また大きな銭湯の駐車場に観光バスがズラリと駐車しているので、何故かと聞いてみると富士山周遊観光の後、お風呂と昼食に立ち寄るとのこと。富士市には多くの観光客を受け入れる施設が少ないのではないかと感じたそうです。その後鈴木君の閉会の挨拶、仲澤会長の閉会点鐘で9月例会は閉会しました。

9 月役員会報告

報告事項

- ・山本富士宮クラブ会長に若し会員の中にワイズで活動したいと希望する人がいれば富士クラブから誘いがあった旨伝えて欲しい(山本会長快諾してくれた)
- ・9月26日の富士山部EMCミーティングに吉澤君が出席します。

議題

- ・10月のクリーン作戦は10月18日(日)10時集合決案内は金井君が発信 ただし金井君は10月から研修に出る為出欠席に返事のあて先は増田君とする。用具一式は増田君が用意する。
雨天中止。
- ・その他
会員増強の件 従来は若い層を狙ったが成果が上がらなかった。そこで我々の同年代のシニア層でもいいから声をかける(熱海Gクラブでは80代の人も入会している)

マイタイム

白砂青松

増田 隆

富士クラブが毎年海岸清掃を実施している元吉原海岸一帯は、昭和30年代前半は沼津の千本松原から続く「白砂青松」の美しい海岸でした。私の母校の小・中学校はその松林の裏手にあり、波音を子守唄として勉学に、遊びに励んでいました。松林を抜けると海岸までは砂浜が100メートル位続き玉砂利を踏んで海岸にたどり着きます。すごく長く感じたものでした。当時学校にはプールが無く夏休みはもっぱら海での海水浴でした。砂浜は焼けるように熱く、足の裏(当時は裸足)は火傷寸前でした。この海岸は急深で2~3メートル沖に出ると足がつかなく、引潮も強くて遊泳には不向きの海岸でした(水難事故も多くあったようです)。また地引網漁も盛んに行われていて毎朝海岸は賑わっていました。そのような思い出のある海岸が、波打ち際が見えない位テトラポットが連なり、巨大な堤防が果てしなく続いて今では見る影もなくなってしまいました。どうしてこのような海岸になってしまったのか調べてみました。古くは「吉原湊」と呼ばれた「田子の浦港」の突堤が富士川の漂砂の流れを妨げているとか、富士川の砂採取のためだとかが疑われ、行政の調査も行われたそうです。しかし最近では海岸浸食の進行は山地の森林の変化も影響しているのではないかと「森林飽和」が言われてきたようです。何はともあれ以前のような「白砂青松」の美しい海岸と松林が甦り「田子の浦にうち出れば白妙の富士の高嶺に雪は降りつつ」と百人一首にも詠まれた心のふるさとを何としても後世に残してあげたい気持ちでいっぱいです。そして私たちの海岸清掃という小さな行動がみんなの力で大きく輪を広げ、微力ですが地球環境を守り、これからもゴミを拾い続けていきたいと思います。

富士山YMCA便り

富士山 YMCA 金井 淳

9月20日~22日、富士山YMCAにて公益社団法人国土緑化推進機構「緑と水の森林ファンド」の助成を受け、「Forest Action Camp」を開催しました。13名の子ど



もたちが、以前例会で講演をいただいたNPO法人森の蘇りの皆さまととも



に、森林の現状や持続可能な森林整備について学びました。実際に森に入り、木を見ながら「どの木を残し、どの木を伐るのか」を考える選木や、実際にのこぎりを使った伐採を体験しました。「体験から行動へ」をテーマに自然を守るために自分にできることを一人ひとりが考え3日間となりました。

ました。実際に森に入り、木を見ながら「どの木を残し、どの木を伐るのか」を考える選木や、実際にのこぎりを使った伐採を体験しました。「体験から行動へ」をテーマに自然を守るために自分にできることを一人ひとりが考え3日間となりました。